



平成27年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 三井金属鉱業株式会社

コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 仙田 貞雄

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長

(氏名) 境 克也

TEL 03-5437-8028

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	226,208	4.4	14,521	21.9	14,853	17.9	10,811	23.7
26年3月期第2四半期	216,756	4.7	11,909	107.3	12,600	168.5	8,740	231.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 10,471百万円 (40.8%) 26年3月期第2四半期 17,689百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	18.93	
26年3月期第2四半期	15.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第2四半期	512,582	177,691	32.9	295.61
26年3月期	503,825	169,867	31.9	281.67

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 168,830百万円 26年3月期 160,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期		0.00		4.00	4.00
27年3月期		0.00			
27年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	460,000	4.3	27,800	8.0	28,500	108.7	16,900	361.5	29.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	572,966,166 株	26年3月期	572,966,166 株
27年3月期2Q	1,838,883 株	26年3月期	1,832,185 株
27年3月期2Q	571,130,609 株	26年3月期2Q	571,146,453 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減に加えて、円安による輸入コストの上昇、ウクライナや中東情勢等のリスクの高まり、海外経済の景気減速懸念等があるものの、円安・株高の継続、企業の業績改善や政府の経済対策の下支えなどを背景として景気は緩やかな回復基調の中で推移しました。

このような環境のもと、当社の売上高は、円安効果やLME（ロンドン金属取引所）価格の上昇による金属セグメントを中心とした増収に加えて、自動車機器セグメントにおいて北米市場などで販売が好調であったことや機能材料セグメントにおいて排ガス浄化触媒や極薄銅箔の販売が好調であったこと等の影響により、当第2四半期連結累計期間は、前年同期比94億円（4.4%）増加の2,262億円となりました。

損益面では、前期計上した薄膜材料のたな卸資産の見積り変更による影響の剥落があったものの、機能材料セグメントや自動車機器セグメントでの増販、円安効果やそれに伴うたな卸資産の在庫影響による要因（以下「在庫要因」）等により、営業利益は前年同期比26億円（21.9%）増加の145億円となり、経常利益は、前年同期比22億円（17.9%）増加の148億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産売却益等を特別利益に、固定資産除却損等を特別損失にそれぞれ計上し、さらに税金費用及び少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期比20億円（23.7%）増加の108億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、平成26年4月1日付の全社的な組織改編に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更しております。

①機能材料

排ガス浄化触媒、スマートフォン向け極薄銅箔および液晶パネル向け薄膜材料製品などの販売が好調であったこと等により当セグメントの売上高は前年同期比61億円（8.7%）増加の777億円となりましたが、経常利益は、前期計上した薄膜材料のたな卸資産の見積り変更による影響の剥落や在庫要因の影響等により22億円（22.2%）減少の77億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

電解銅箔（当第2四半期連結累計期間の生産量18千t）

②金属

亜鉛など主要地金の需要および為替・LME価格が堅調に推移したこと等により当セグメントの売上高は前年同期比19億円（3.2%）増加の636億円となりました。経常利益は、為替・LME価格、在庫要因や持分法投資損益の好転等により33億円（224.1%）増加の48億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

亜鉛（当第2四半期連結累計期間の生産量106千t＜共同製錬については当社シェア分＞）

鉛（当第2四半期連結累計期間の生産量33千t）

③自動車機器

自動車需要は、北米・中国を中心に堅調に推移しました。これにより当セグメントの売上高は、前年同期比84億円（19.9%）増加の512億円、経常利益は12億円（158.7%）増加の19億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

自動車用機能部品（当第2四半期連結累計期間の生産金額448億円）

④関連

エンジニアリング事業の受注や各種製品の需要が総じて堅調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比62億円（12.1%）増加の579億円となりました。経常利益は、各種製品の販売の増加やコスト削減効果等により2億円（32.8%）増加の11億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益139億円に、減価償却費120億円などの増加要因と、たな卸資産の増加85億円、売上債権の増加22億円及び法人税等の支払い22億円などの減少要因を差し引いた結果、127億円のキャッシュの増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出135億円などにより、142億円のキャッシュの減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの減少および長期借入金の返済による支出などにより、24億円のキャッシュの減少となりました。

以上の結果、為替換算差額を含めた現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ32億円減少の120億円となりました。

また、当第2四半期末の総資産は、たな卸資産や売掛債権の増加等があり、前連結会計年度末に比べ87億円増加の5,125億円となり、長・短借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー残高は前連結会計年度末より13億円増加の2,198億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間実績および為替・非鉄金属価格等の変動要因や第3・第4四半期の状況を勘案の上、見直しております。

8月8日にお知らせしました業績予想に比べ、売上高は138億円（3.1%）増加の4,600億円、営業利益は28億円（11.2%）増加の278億円、経常利益は10億円（3.6%）増加の285億円、当期純利益は2億円（1.2%）減少の169億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減金額 (A)-(B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	152,900	152,200	700	0%
	金属	135,900	125,000	10,900	9%
	自動車機器	100,700	103,500	△2,800	△3%
	関連	117,900	111,900	6,000	5%
	消去又は全社	△47,400	△46,400	△1,000	-
	合計	460,000	446,200	13,800	3%
営業利益		27,800	25,000	2,800	11%
経常利益	機能材料	12,400	12,000	400	3%
	金属	8,100	6,800	1,300	19%
	自動車機器	5,700	7,000	△1,300	△19%
	関連	4,200	4,000	200	5%
	消去又は全社	△1,900	△2,300	400	-
	合計	28,500	27,500	1,000	4%
当期純利益		16,900	17,100	△200	△1%

	4月～9月 実績	10月～3月 見込	今回予想	(参考) 前回予想
為替(円/US\$)	103	105	104	101
亜鉛LME(\$/t)	2,192	2,200	2,196	2,043
鉛LME(\$/t)	2,139	2,100	2,120	2,149
銅LME(¢/lb)	313	300	306	309

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が544百万円増加し、退職給付に係る資産が281百万円減少、利益剰余金が825百万円減少しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,290	12,067
受取手形及び売掛金	82,582	84,542
商品及び製品	26,026	27,049
仕掛品	27,716	29,091
原材料及び貯蔵品	31,573	38,133
繰延税金資産	3,926	4,102
その他	11,410	14,108
貸倒引当金	△133	△145
流動資産合計	198,392	208,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	155,615	157,161
減価償却累計額	△103,660	△105,687
建物及び構築物（純額）	51,954	51,474
機械装置及び運搬具	306,122	316,683
減価償却累計額	△254,171	△262,316
機械装置及び運搬具（純額）	51,950	54,366
鉱業用地	507	505
減価償却累計額	△234	△233
鉱業用地（純額）	273	272
土地	32,718	32,753
建設仮勘定	9,536	9,725
その他	52,134	52,564
減価償却累計額	△42,171	△43,244
その他（純額）	9,963	9,320
有形固定資産合計	156,397	157,912
無形固定資産	4,177	3,891
投資その他の資産		
投資有価証券	134,337	130,396
長期貸付金	501	568
繰延税金資産	2,231	2,294
退職給付に係る資産	2,830	3,022
その他	5,344	5,978
貸倒引当金	△387	△432
投資その他の資産合計	144,857	141,828
固定資産合計	305,432	303,631
資産合計	503,825	512,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,699	41,374
短期借入金	59,084	64,594
コマーシャル・ペーパー	10,000	5,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,320	2,255
繰延税金負債	24	8
引当金	6,399	6,343
その他	28,362	30,459
流動負債合計	159,891	160,536
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	89,416	89,735
繰延税金負債	4,715	4,727
引当金	2,559	2,405
退職給付に係る負債	22,784	23,172
資産除去債務	2,344	2,258
その他	2,246	2,055
固定負債合計	174,066	174,355
負債合計	333,958	334,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	92,190	100,570
自己株式	△596	△599
株主資本合計	156,280	164,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,653	2,203
繰延ヘッジ損益	△205	△2,488
為替換算調整勘定	3,531	4,765
退職給付に係る調整累計額	△388	△307
その他の包括利益累計額合計	4,591	4,172
少数株主持分	8,994	8,860
純資産合計	169,867	177,691
負債純資産合計	503,825	512,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	216,756	226,208
売上原価	182,865	189,329
売上総利益	33,891	36,878
販売費及び一般管理費	21,982	22,357
営業利益	11,909	14,521
営業外収益		
受取利息	67	89
受取配当金	553	708
為替差益	573	-
持分法による投資利益	423	501
不動産賃貸料	495	474
その他	546	357
営業外収益合計	2,659	2,131
営業外費用		
支払利息	1,141	1,038
為替差損	-	20
その他	827	740
営業外費用合計	1,968	1,798
経常利益	12,600	14,853
特別利益		
固定資産売却益	446	60
受取保険金	-	242
その他	31	239
特別利益合計	477	541
特別損失		
固定資産売却損	13	22
固定資産除却損	391	513
減損損失	33	27
事業構造改善費用	327	363
その他	750	493
特別損失合計	1,516	1,420
税金等調整前四半期純利益	11,561	13,975
法人税、住民税及び事業税	2,127	3,195
法人税等調整額	582	△221
法人税等合計	2,710	2,974
少数株主損益調整前四半期純利益	8,850	11,000
少数株主利益	109	189
四半期純利益	8,740	10,811

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,850	11,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	805	550
繰延ヘッジ損益	△86	△1,859
為替換算調整勘定	3,889	△163
退職給付に係る調整額	-	74
持分法適用会社に対する持分相当額	4,229	868
その他の包括利益合計	8,838	△528
四半期包括利益	17,689	10,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,295	10,392
少数株主に係る四半期包括利益	393	79

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,561	13,975
減価償却費	11,693	12,059
減損損失	33	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38	34
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△189	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△208
受取利息及び受取配当金	△621	△797
支払利息	1,141	1,038
為替差損益(△は益)	176	108
持分法による投資損益(△は益)	△423	△501
固定資産売却損益(△は益)	△432	△37
固定資産除却損	391	513
売上債権の増減額(△は増加)	3,483	△2,285
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,099	△8,527
仕入債務の増減額(△は減少)	975	△682
その他	△703	△3,806
小計	18,949	10,908
利息及び配当金の受取額	620	797
持分法適用会社からの配当金の受取額	903	5,241
利息の支払額	△1,164	△1,029
法人税等の支払額	△703	△2,220
その他	259	△954
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,865	12,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,121	△13,511
有形固定資産の売却による収入	1,737	75
無形固定資産の取得による支出	△162	△147
投資有価証券の取得による支出	△21,121	△29
子会社株式の取得による支出	△96	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	20	103
長期貸付けによる支出	△5	△81
長期貸付金の回収による収入	14	13
その他	△732	△660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,466	△14,238

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,431	5,275
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	△4,500
長期借入れによる収入	21,594	3,900
長期借入金の返済による支出	△7,208	△4,399
リース債務の返済による支出	△302	△247
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△1,713	△2,284
少数株主への配当金の支払額	△449	△214
その他	△11	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,341	△2,495
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,373	△3,964
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	29	742
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△890	—
現金及び現金同等物の期首残高	15,202	15,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,715	12,065

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	23,081	55,883	34,249	49,771	42,679	205,666	11,090	216,756
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,076	21,317	1,891	11,828	76	36,190	△36,190	—
計	24,158	77,201	36,141	61,600	42,755	241,857	△25,100	216,756
セグメント利益	3,201	1,595	2,303	5,831	760	13,692	△1,092	12,600

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,183百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	74,779	56,051	51,239	43,283	225,354	854	226,208
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,977	7,613	10	14,626	25,227	△25,227	—
計	77,757	63,664	51,249	57,909	250,581	△24,372	226,208
セグメント利益	7,783	4,891	1,968	1,194	15,838	△984	14,853

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△809百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成26年4月1日付の全社的な組織改編に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来の機能材料、金属・資源、電子材料、素材関連及び自動車機器から、機能材料、金属、自動車機器及び関連セグメントに報告セグメントの区分方法を変更しております。

変更後の各セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

セグメント	主要製品等
機能材料	電池材料（水素吸蔵合金、マンガン酸リチウム、電池用亜鉛粉）、 排ガス浄化触媒、機能粉（マグネタイト）、金属粉、 レアメタル化合物（セリウム系研磨材、酸化タンタル、酸化ニオブ）、希土類 電解銅箔、薄膜材料（スパッタリングターゲット）、 セラミックス製品（アルミ溶湯濾過装置、アルミナ系・SiC系セラミックス）、単結晶
金属	亜鉛、銅、鉛、金、銀、硫酸、亜鉛合金、 産業廃棄物処理、土壌調査、地熱蒸気
自動車機器	自動車用機能部品
関連	酸化亜鉛、リサーチ、アルミ・マグネダイカスト製品、 パーライト（建築材、湿式濾過助剤、断熱材、乾式濾過助剤、土壌改良材）、 人工軽量骨材、粉末冶金製品、非破壊型検査装置、研削砥石、 非鉄金属・電子材料等の販売、伸銅品（銅板、銅条、黄銅板、黄銅条）、 亜鉛板（印刷用亜鉛板、防食用亜鉛板、建材用亜鉛板）、 各種産業プラント・環境機器・自動化機器等のエンジニアリング、 建築・土木等の建設工事の設計・施工、ポリエチレン複合パイプ、情報処理システム

前第2四半期連結累計期間について変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	68,479	53,627	42,679	40,879	205,666	11,090	216,756
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,086	8,044	76	10,774	21,982	△21,982	—
計	71,565	61,672	42,755	51,653	227,648	△10,891	216,756
セグメント利益	9,999	1,509	760	899	13,168	△568	12,600